

【速報】最大の援助:台湾からの民間支援物資 400トンの一部が成田空港に到着

- 2011年3月22日(火) 13:02 JST
- 投稿者:

[台湾新聞本部](#)



3月22日、成田空港と羽田空港に、台湾の寺院でNGOである国際佛光会(本山・高雄)から、日本に向けた救援物資400トンのうち、26トン(成田)と35トン(羽田)が到着した。成田には、マスク8万枚、水、衣類だが、羽田にはカップラーメン、ココアなど主に食べものが着いた。また羽田には発電機298台(日本から輸入したものを逆に援助品として日本にもってきたものという)、ストーブ200台も本日中に届いた。物資は空港で、佐川急便の10トントラック3台に載せ替えられ、被災地へと向かった。現在トラックは7台をチャーターしたが、22日の物資はこの3台で被災地に運ぶとのこと。また、この物資の送達のため、ガソリンなどの取得にも配慮したという。

国際佛光会の本部はロサンゼルスにあるが、本山は台湾の高雄にある。全世界で500万人の信者を持つ大教団だが、日本でよく言われるような「怖い宗教」ではない。実際、援助物資も教団以外の人々からの寄付だという。

他に船便が横浜にこれから13トン、24日に着くとのこと。この他に、台湾からは民間からの支援金が15億台湾元(約45億円)が届けられるとのこと。この物資と金額は現時点での外国からの援助としては最大だ。また、トラックとは別に信者の方は自分の自動車などで被災地まで移動するとのこと。また、被災地での生活で必要となるサプリメントなどもその際に持っていくという。

現場で救援物資の積み込み作業をしている従業員の方にこの数量をお話したところ、普段は扱わないほどの量ということで、大変に驚いていた。この量、また民間からの義援金45億円という金額はおそらく外国からの今回の援助では最高の部類に入ると思われる。

佛光山日本支部・日本佛光山責任役員の釈満潤さんは「前は日本に大変に助けていただきました。今回は私たちが恩返しをします」と、明るく語り、今回の物資の到着のさまざまな事務をこなしていた。

